

樟蔭学園報

Vol. 173

2015 February

# くすのき

Kusunoki

樟蔭学園は創立100周年

100<sup>th</sup>

Anniversary in 2017



樟古館が移動した正門の様子

## CONTENTS

● Feature Story — 樟古館

### 学園開校時の 面影を残す「樟古館」

1

● SHOIN LABO — 「子どもたちが笑顔になる英語教材を」菅 正隆先生

3

● こもれびの窓 — 『自分らしくあること』の大切さを学んで 戸田 順子さん

5

● NEWS — 「樟蔭ホームカミングデー2014を開催」ほか

7

● WingBEAT! — 「達成感とともに成長した若樟祭」●●●●さん

16

● CLUB NAVI — 中学校 体操部

17

● Information — イベントのお知らせ

19

● FORUM — 大学院・大学・中高の入試日程 ほか

20

● 平成25年度決算概要報告

21

● リレー★コラム 森西 真弓先生 & STAFF@SHOIN 住友 元美さん

23



はばたけ、知性。





Feature Story  
巻頭特集



樟古館・洗濯教室 (1955年)

【洗濯教室】

洗濯教室は、実習を行なう主室と準備室、乾燥室、物置などがあり、鉄筋コンクリート製の洗濯用の流し台は同時に20人が並んで洗濯することができました。また、当時の日本ではまだ珍しかった電気アイロンも設置されていました。



洗濯教室での授業の様子



洗濯教室の外観



洗濯教室の内部  
アイロン台などがある

洗濯教室の内部

【試食室】

試食室は、調理実習で作った料理を試食する空間として作られた建物で、校内では最も閑静な場所にありました。



試食室の外観



試食室の内部

# 学園開校時の面影を残す「樟古館」



樟古館は、1918(大正7)年、学園開校時に建てられた木造建築物の中で唯一残っている大小2棟の建物です。半切妻屋根とハーフティンバースタイルの外観を持つ瀟洒(しょうしゃ)な建物で、柱や梁など骨組みを見せた外壁や屋根のせん塔飾りなどから洋風を意識した大正期の意匠の特徴がうかがえます。建築当時から現在に至るまでの樟古館をご紹介します。

構造:木造平屋建  
建築面積:旧洗濯教室120㎡、旧試食室23㎡

移築前の様子 2013

国の登録有形文化財に

もともと「洗濯教室」「試食室」という別々の建物でした。1960(昭和40)年代に、学園内の多くの建物が木造から鉄筋コンクリート製へと建て替えられていく中で、創立当時の面影を残す貴重な建物を保存する機運が高まりました。そして創立50周年記念事業として、異なる場所に建てられていた2棟の建物を移築して「樟古館」と名付けて保存されることになりました。建築当時とは外観にも若干変更が加えられているものの、現存する大正期の学校建築物は希少で、2007(平成19)年に国の登録有形文化財に指定されました。



樟古館を大切に保存

樟古館は、2017(平成29)年に迎える学園創立100周年に向けて取り組んでいる「小阪キャンパスリニューアル事業」の一環として、正門近くに再び移動します。2013(平成25)年の夏に旧洗濯教室は少し学園本館側へ、旧試食室は学園本館と高校校舎の間に移動しました。そして、2014(平成26)年12月から2015(平成27)年3月にかけて旧洗濯教室は体育館(100年会館)の横に、旧試食室は正門の近くまで移動。学園を訪れた方にご覧いただくとともに、大切に保存していくことで学園の歴史を伝えていきます。



2013(平成25)年の秋から徐々に移動が始まりました



手動で曳家を行う様子  
※曳家=建築物をそのままの状態で行う建築工法



新しい体育館の横に移動した旧洗濯教室(左奥は記念館)



# 子どもたちが笑顔になる英語教材を生み出し 英語力の底上げを目指す



かんまさたか  
1958年岩手県生まれ。大阪外国語大学(現大阪大学)卒業。大阪府立高校英語科教諭、大阪府教育委員会指導主事、大阪府教育センター主任指導主事を経て、文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官。2009年から本学児童学部勤務。専門は英語教育、言語政策、教育行政。「英語好き」を育てる70のアドバイス(小学館)、「日本人の英語力」(開隆堂)、学生による「子どもの作品を生かした楽しい外国語活動」(サクラクレパス出版部)など著書多数。



## 菅正隆 先生

大阪樟蔭女子大学  
児童学部児童学科 教授 / 児童学科長

児童学部は英語が使える小学校教諭、幼稚園教諭、保育士の育成をめざしています。教授の菅正隆先生が力説するのは「たくさん英語に触れ、コミュニケーション力を育むこと」。そんな菅ゼミでは、子どもが英語を好きになるための教材を研究しています。



いきます。活発なディスカッションからは私たち大人が思いつけないような素晴らしいアイデアも生まれます。

### 子どもの気持ちに寄り添い

とにかく「英語は面白い」と子どもにもインプットしないとダメ。だからゼミでは、絵や英語の上手下手ではなく、学生のアイデアをいかしながら、子どもの気持ちに寄り添って作ることを第一に考えた指導をしています。将来、教壇に立って自分が使う立場になるわけですから、学生は真剣そのものです。



取材した時、学生たちは賑やかに会話を交わしながら、「子どもと夢」をテーマにした絵を描いていました。1枚の絵の中に隠した図形を探して遊ぶ教材に仕上げます。子どもが英語でもっとも覚えにくいと言われているのが形の表現で、サークル、ハート、スクエア、ダイヤモンドなどの言葉が出てこないのです。「Where is the heart?」などと問いかけながら使うと、形と言葉がすり込まれるようになっていきます。

### (株)サクラクレパスと産学連携

学生が制作した教材は、総合文具メーカー(株)サクラクレパス(本社・大阪市)のホームページで紹介しています。これまで手掛けた教材は約400種類にもなります。「かくし文字をさがそう」は、カラフルな海中の絵に魚やダイバー、岩などにアルファベット26文字が隠されていて、それを探そうという教材にしました。英語紙芝居は、ネコと魚のやりとりを、絵に従って英語で交わします。こ

のほか、英語すごろくやシルエツクイズなど、遊び心で英語に親しめるものばかりです。小学校の先生が教材として利用したり、お母さんが家庭でわが子に触れさせたりするなど活用される場が広がっています。「45分間、子どもたちを飽きさせずに授業ができた」「子どもが笑顔で『英語って楽しい』と言ってくれた」との反響が届いたときは、やはりうれしいですね。先日はシンガポールから連絡があり、世界に発信できていることを実感しました。



ゼミの学生が考案した英語のカレンダー

©ayu\_sn

### 子どもの英語力の底上げを

「英語は楽しい」と思える子どもの人口を増やすためには、現場に入り込む必要があります。私が行政から教育の第一線へ転身を決めた理由です。樟蔭に来て5年。ここで学んだ学生たちが英語好きの子どもをひとりでも増やしてくれれば、英語を使って活躍する人材が育っていくはずだと信じています。そんな未来像を描きながら、子どもの英語力の底上げに少しでも尽力したいと考えています。英語教材を作るゼミは全国でもここだけです。教材作りを通して、学生が子どもを理解できるようになるのが菅ゼミの特徴でもあります。学生には本物の教育者に育ってほしいと願っています。



### 苦手教科にしない英語教育を目指し

前職は文部科学省の教科調査官として小学校の「外国語活動」導入に中心的にたずさわっていました。私たちはみな日本語を親の言葉を聞き、そのまま覚えた。読み書きは音が定着してから学んだはず。ところが、日本の英語教育はずっと読み書き中心。だから聞き取れない、話せない人を量産してきました。いま中学生が最も嫌う科目は英語で、1年生の20%が「授業が理解できない」といい、この比率は3年になると28%、高校の1年では33%に達します。英語の授業は文法に沿った「積み上げ型」なので、Be動詞、進行形、完了法など、次々に習う新たな文法事項で一度つまずくと、先に進みにくくなります。

抵抗なく、楽しく、力がつく——この3拍子がそろった英語教育が子どもたちには必要だと感じました。もちろん教員の指導力も重要ですが、教材・教具の工夫にかかっているといても過言ではありません。「子どもの興味を喚起しながら、抵抗感を下げ、英語をどう

インプットするか」をテーマに掲げ、より効果のある教材づくりを目指しています。

### 教材創作を通して学生も成長

現在、菅ゼミの4回生は18人が在籍しています。3回生で子ども英語や児童英語、小学校英語の基礎を身につけるとともに、幼児対象の教材をつくります。4回生では小学生向けの教材も手掛けます。ゼミではプレゼンテーションし、実際に教材を使って質を高めていくながら、卒業までにひとり10作品を仕上げるカリキュラムとなっています。



ゼミは常にアットホームな雰囲気、学生が活発に発言できるようにしています。それは、コミュニケーションこそ、学生を成長させると考えるからで、発想が豊かになり、指導者になるための力をつけて

### ◆ 気楽に利用できる英語教材 ◆

菅ゼミの英語教材は(株)サクラクレパスのホームページ(<http://www.craypas.com/target/teacher/teach-es/english.com/target/teacher>)で紹介されています。ご家庭でもダウンロード(無料)して利用できます。

### ◆ 「英語教育大激論! 2014」を開催 ◆

11月15日(土)、英語教育センター主催のワークショップ「英語教育大激論! 2014」を開催。文科省教科調査官として小学校外国

語活動の導入に中心的な働きをした菅正隆・本学教授と、導入に否定的な立場を取ってきた津由紀雄・明海大学副学長が「小学校英語教育の功罪」と題して講演。対談では導入の経緯や日本の英語教育、日本人の英語力などについて熱い討論を繰り広げました。





# 「自分らしくあること」の 大切さを学び 活躍の場を広げてきました

## 戸田 順子さん

フリーアナウンサー  
1987年3月、大阪樟蔭女子大学学芸学部国文学科卒業

とだじゅんこ ● 大阪生まれ。フリーアナウンサー、構成作家。田辺聖子文学館ジュニア文学賞など各種イベント司会もこなす。学生時代にラジオのオーディションに合格して以来、KBSラジオ「山崎弘士の満員御礼」、ABCラジオ「シニアライスポップス」など幅広い番組に出演。現在、KBSラジオ「京・温故知新」のメインを担当。NHK国際放送「Core Kyoto」(海外のみ放送)では企画・構成を手掛ける。



「みなさん、こんにちは」。毎週水曜日の夕方、KBS京都ラジオからさわやかな声が流れてくる。人気番組「京・温故知新」でメインパーソナリティーを務める戸田順子さんだ。アナウンサーやイベント司会はもちろん、テレビ番組の企画・構成まで手掛けるマルチな才能を発揮する彼女に聞きました。

### 「自分らしくあること」に気づき

京都での仕事が長いですね。学生時代からラジオのアシスタントを始めましたが、20代は試行錯誤の繰り返し、あせりが募るばかりでした。いくら背伸びしたって地に足が着いてないとダメなんですよ。自分らしくあること、その大切さに気づいたのは30代も後半になってからでした。肩の力がずっと抜けて「ありのままの私」をわかってもらえた気がしました。そして京都のリスナーにも受け入れていただいたような感じがします。

### 38歳で転機

初めてラジオのメインパーソナリティーを任されたのは38歳でした。嬉しかったです。同じころ、テレビでも「京のいっぴん物語」(KBS京都)の企画・構成を手掛けることになりました。誰かが取材したものを基にしゃべるのではなく、自分で取材もするのです。自分の足で京都を歩きまわって、人との出会いを積み重ねていきました。ぐっと世界が開けた感じがしました。もちろん、出会った方々に教え、導いてもらった感謝の気持ちもあります。



近鉄バファローズVS阪急ブレーブス試合 始球式  
東大阪市ふれあい祭り 司会  
卒業式 谷垣ゼミ生と  
くすのき祭にて  
部活動の発表会

### ラジオは「家族みたいなもの」

ラジオは見えないぶん、感じさせることが大切です。人のあったかさ、やさしさ、心の豊かさ。それらすべてが声に表れる。想像をふくらませることもできる。そしてなによりラジオの楽しさは家族みたいなメディアだということです。私もリスナーも日常を共にしている感覚があるんですね。マイクの前で話すときは、どうしたらリスナーに伝わるか、少しでも耳を傾けてもらえるかを心掛けています。なによりゲストの人柄を引き出したいので、自然なかたちでしゃべっていただけるよう工夫しています。聞きだす力が重要だと痛感します。結局は、人間力がものをいう仕事なんだと思います。

### 樟蔭の4年間で社会人の基礎に

社会人としての基礎を築いてもらったのは樟蔭の4年間でした。とりわけ谷垣伊太雄先生に厳しく、優しく指導していただけたことに感謝しています。谷垣ゼミは「魔のレポート」と呼ばれていましたが、毎回、テーマを考えてレジュメをつくり、その内容をプレゼンする。ひとつのテーマについてまとめて話す訓練になりました。卒論は「義経記」。製本するのが国文学科の伝統で、苦心してつくりましたね。4回生でラジオのアシスタントの仕事が決まったとき、真っ先に相談にうかがったのも谷垣先生でした。大学でアナウンス原稿を書いたり、放送局で卒論を書いたりもしましたが、仕事と勉強を両立できるよう応援してくださいました。谷垣先生との出会いは、挫折することなくこの道に進めた大きな要因のひとつです。その感謝の気持ちを忘れずにいたいと思っています。2014年8月、大阪市北区のグランフロント大阪で開催された100周年記念イベント「樟蔭百年」の司会をさせていただきました。

ました。樟蔭の大きな節目となるイベントに関わらせていただいたことが嬉しかったですし、恩返しのでん張りしました。樟蔭出身の母に知らせると、とても喜んで見に来てくれました。誇らしい思いでいっぱいです。



### 学生へのメッセージ

ひとつは、樟蔭で学べることはすべて学んでほしい。勉強はもちろん、学生時代に身につけた教養は必ず役に立ちます。先生との出会いもそうですよね。大先輩の田辺聖子さんが著書で「国語の先生の免許をとって、自活して、小説の勉強をする。大学(女専)に入るとき、将来の夢を描いていた」というような内容を記されています。私もそうでした。夢を描いて、それに向かってほしい。何となく過ごすというのはいらない。もうひとつは、大学では多くの友人をつくってほしい。けれども決して群れない。自立した女性になってほしい。教養を身につけて自分に自信がもてるようになれば、それは可能です。ただ、女性らしさを忘れずに、ね。





## 学園

### 樟蔭ホームカミングデー2014を開催



10年に一度の対象期にあたる卒業生を学園へ招く「樟蔭ホームカミングデー」が10月25(土)、26日(日)に小阪キャンパスで盛大に開かれました。昨年とは小阪キャンパスのリニューアル工事の影響で実施できなかったため、今年は2年分の開催となりました。昨年対象の方は25日に、今年対象の方は26日に来校いただきました。両日も大学祭「くすのき祭」で賑わうなか、あわせて500名以上の卒業生らが参加。懇親会は両日も2014年7月末に完成したばかりの「翔空館」の10階で開かれ、参加された卒業生の皆さんは懐かしい友人や先生方との再会を楽しみました。また、登録有形文化財「樟蔭館」や新校舎「学生サポート会館清志館」「体育館(100年会館)」などの見学ツアーも催され、卒業生の皆さんにとって、懐かしさと同時に、進化する学園の姿を見ていただく貴重な一日となりました。見学ツアーには在学学生がサポート役として参加し、卒業生と現役学生が交流を深めるシーンもありました。



#### イベント報告



### 関屋キャンパスに卒業生が集いました

2015年春に小阪キャンパスと統合する関屋キャンパスでは10月18日(土)、19日(日)、最後の大学祭「若樟祭」と同時に「関屋キャンパスホームカミングデー2014」を開催しました。卒業生とご家族ら500名が参加し、先生や友人と久しぶりの再会を楽しみました。懐かしい卒業アルバムを見たり、思い思いの一言メッセージを書いたりして、キャンパスでの思い出を名残惜しそうに語り合っていました。退職された先生方が登場されると、卒業生は歓声や拍手で再会を喜び、おおいに盛り上がっていました。



#### イベント報告

### 樟蔭同窓会総会と東京支部総会が開かれました

樟蔭同窓会の総会が5月18日(日)、大阪市天王寺区のシェラトン都ホテルで開かれ、約180名の卒業生が参加しました。同窓会の運営、活動報告、今後の活動などの報告が行われた後、パーティが開催され、コンプト・デ・サボーレスによるギター演奏や福引き大会などで大いに盛り上がりました。また、6月3日(火)に東京都新宿区のハイアットリージェンシー東京で東京支部総会が開かれ、128名もの卒業生が集いました。今年のアトラクションは



東京支部総会

フォークソングで、オフコースメロディに聴き惚れました。旧制の先輩方もお元気な姿をみせてくださり、年に一度の世代を超えた楽しい交流の場となりました。



樟蔭同窓会総会

#### イベント報告

### 樟蔭クリーンアップ活動を展開しています

1月14日(水)、学園の中学校・高校の生徒、大学生が合同で近鉄河内小阪駅周辺や駅前商店街の清掃を行いました。これまでも中学校・高校の有志や自治会執行部、各クラブの生徒が集まって、地域の方々への日々の感謝を込めて清掃を続けてきました。2014年度から職員、大学生も加わり、「樟蔭学園クリーンアップ活動」と題して取り組んでいます。この日は約80人が参加しました。1時間かけて落ち葉や雑草、空き缶、タバコの吸殻などを拾い上げました。清掃中に、地域の方から「ありがとうございます」と感謝の声をかけられることもあり、生徒の中には「清掃してよかった」という声があがっていました。



#### 活動報告

### 100周年記念イベント「樟蔭百年」を開催しました

2017年に学園創立100周年を迎えるのを記念して、イベント「樟蔭百年」を8月23日(土)・24日(日)に大阪・梅田のグランフロント大阪で開催しました。創立以来、いつも時代の一步先を見つめ、これからの社会で活躍できる女性の育成に努めてきた樟蔭の過去・現在・未来を紹介しました。学園の歩みを伝える歴史パネルでは、大正時代に



伝統の袴姿で歴史を紹介する学生たち

英語を学ぶ女子生徒たちや大阪電気軌道(現在の近鉄)の専用通学列車、屋内体操場、戦時中の勤労奉仕などの写真を展示し、女子教育が珍しかった頃からの歴史と現在の様子を紹介。メインステージでは、中学校、高校のバントフリング部やダンス部、新体操部が華麗な演技を披露し、会場は樟蔭一色に染まりました。

また、田辺聖子文学館のウォールをタペストリーにして設置した「ミニ文学館コーナー」、田辺さんと親交のある元宝塚トップスター、榛名由梨さんなどによるトークショーを行いました。その他に、産学共同で開発したコラボ商品の紹介コーナー、桂かい枝師・学生有志による英語落語、学生による「積み木を用いたワークショップ」や「絵本の読み聞かせ」なども行われ、子どもから大人まで多くの人たちに樟蔭学園の伝統を感じてもらうことができました。



華麗な演技を披露したバントフリング部



積み木を用いたワークショップ



大人も子どもも人気だった原始力発電



「美」のプロを目指す学生チームame(アーム)によるメイクアップショー



学生による英語落語

#### 100周年ニュース



大学・大学院

## 各キャンパスの大学祭が大盛況!



第28回若樟祭プリンセスコンテストに出場した学生(関屋キャンパス)

### ●若樟祭(関屋キャンパス)

関屋キャンパス最後の大学祭となる「第28回若樟祭」が10月18日(土)、19日(日)に開かれました。テーマは「アルバム〜28年の記憶〜」。学生たちは、これまで先輩たちが積み重ねてきた27年間にわたる関屋キャンパスの思い出とともに、みんなの心に



大盛況の模擬店(関屋キャンパス)

### ●くすのき祭(小阪キャンパス)

キャンパスリニューアル工事が進む小阪キャンパスでは10月25日(土)、26日(日)、「第64回くすのき祭」を開催し、たくさんの方にきていただきました。今年のテーマは「愛」。家族や友達、先生などまわりの方に感謝の気持ちを伝えたいという思いで、テーマを決めました。当日は伝統ある袴コンテストのほか学生が企画・出演するファッションショーや男装コンテストなど華やかなイベントで大いに盛り上がりました。恒例の模擬店では、お好み焼き、焼きそば、ホットドッグ、フライドポテト、綿菓子のほか、パンケーキやかぼちゃりんごパイなどスイーツも充実。学生の自信作が並びました。今年は、ご家族でお越しの方が多く、子どもたちが楽しんでいる姿が印象的でした。

## イベント報告



お客様に笑顔で対応する学生(小阪キャンパス)



学生によるファッションショー(小阪キャンパス)



「ヤングジャパニーズ」によるダンスの発表(関屋キャンパス)

最後の若樟祭を刻みたいという思いを込めました。校内には「ありがとう関屋キャンパス」と書いたポスターを掲げ、一人ひとりに思い出を綴ってもらったメッセージボードを用意し、来場者を迎えました。当日は天候にも恵まれ、多くの卒業生を送り出してきた関屋キャンパスを惜しんで、例年より多い1万以上の方が訪れました。来場者からうれしい言葉とたくさん笑顔のいただき、最後の大学祭を締めくくることができました。

## イベント報告

### 毎年大盛況のSHOIN 子育てカレッジ2014を開催

毎年恒例の「SHOIN 子育てカレッジ2014〜絵本で広がる子育ての輪〜」が7月19日(土)、20日(日)に開催されました。「SHOIN子育てカレッジ」は、地域の子育て支援の一環であり、児童学部の学生が教育実践活動の場として毎年企画・運営を行っています。今回は「絵本ワールド」「絵本の世界で遊ぶ」「絵本って楽しい」をテーマに、多数のプログラムを用意。1000冊以上の絵本を展示、紹介したほか、人形劇、紙芝居、読み聞かせなど絵本の魅力を伝えるイベントやワークショップを企画。子どもたちは夢中になって絵本の世界を満喫していました。



## 産学連携による商品が続々登場しています

### 学生提案型インターンシップ

学生が企業と連携し、自分たちのアイデアを商品開発に反映していくプログラム「学生提案型インターンシップ」。今年は7チーム37名が商品開発に携わりました。

#### ゴールドフラッグ株式会社

20代前半の女性目線で考えた「おしりが桃!パンツ」を手掛けました。履き続けることで、桃のような理想のヒップラインへと導きます。

用するなど、幅広い年齢層に使ってもらえるデザインに仕上げられています。春から100円ショップ「Can☆Do」で販売されます。



#### 株式会社オーツ



飲食業向けダイニングセットの提案として、お店の雰囲気を壊さない個性的な椅子をイメージした「カフェチェアLe temps」と、現代的なイメージの「ロッキングチェアPace」を開発しました。

#### 株式会社中島大祥堂

兵庫県丹波市の魅力を伝えられる生菓子「たっぶり小豆のなごみタルト」を考案。小豆を引き立てるサツマイモを使い、タルト生地にも小豆を入れ込んだお土産品となっています。4月に丹波市にオープンするお店に登場する予定。



#### 株式会社エムアンドエムソックス

秋冬に履きたい靴下をテーマにシンプル＆オシャレなクルーソックスを開発。誰でも挑戦しやすい「ルーズ風ソックス」と、足首をきゅっと細くさせる効果が期待できる「ツートンギザギザラインソックス」を仕上げました。



#### サナダ精工株式会社

メイク道具収納ケース「My Make」を開発。中身が透けないようにしたり、取り出しやすさを追求して完成させました。取っ手にはゴールドや茶色を使

#### ブランドゥシー・メディカル株式会社

10〜20代の女性が欲しいと思う洗顔料を実現させました。商品名は「楽園のかがやき」。美白・保湿・洗浄力に優れた洗顔料となっています。同社ホームページ、本学生協などで販売中です。



#### 株式会社ラッキートレンディ

今までにないリップグロスを目指し、透明感あふれるツヤと軽いつけ心地のリップグロス「ぼってり立体リップ」を開発しました。5種類の美容成分を配合。ぼってりとした立体的な唇に近づけます。4月からバラエティショップ、本学生協などで販売される予定です。



### 大阪樟蔭女子大学 × カバヤ食品株式会社

日本経済新聞社との連携講座を開催しました。健康栄養学科の学生が8カ月にわたって市場調査や試作を繰り返し、カバヤ食品に新商品開発を提案しました。

定番の形を守りつつ、自分たちの思いを製品にどう生かせるかを考え、健康的なチョコレート「希少糖×大豆製品×小麦ブラン

まめランチ」、個包装に励ましや楽しいメッセージを書いたメッセージキャンディ「これ、おいしいで!」、本格的なダシ風味の「うどんプレッツェル」を完成させました。斬新なアイデアが評価され、「まめランチ」が優秀賞を受賞し、キャンディとプレッツェルは商品化されることになりました。



### 大阪樟蔭女子大学 × あべのハルカス近鉄本店

1月28日(水)〜2月14日(土)、学生と近鉄百貨店が共同開発したバレンタインチョコレートがあべのハルカス内の近鉄百貨店9階催会場に並びます。学生が考案し、ケーキ工房フローレンス(大阪市)、パティスリージョーカー(枚方市)、モンワール(神戸市)、菓子工房エリオス(大阪市)の4社が協力して4点を商品化。「女子大生が今食べたいチョコ」をコンセプトに、女子大生の視点をいかしたフレッシュな商品ばかりで、「ラッピングも女子力たっぷり」に仕上げられています。





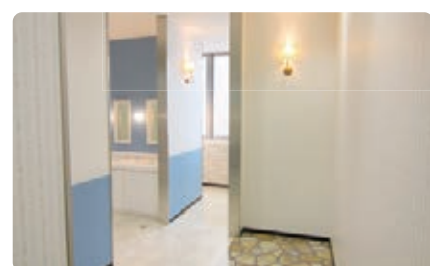
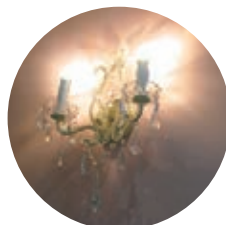
## 新校舎に女の子の理想を形にしたパウダールームが登場

9月に完成した学生サポート会館清志館に5つのパウダールームが登場しました。学生広報チーム「ステラプロジェクト」のメンバーが「女の子の憧れ空間」をテーマに考案。1階から5階までそれぞれ違うコンセプトで、憧れの空間を形にしたパウダールームに仕上げました。

1階の「natural」は自然と森をイメージし、木目調の壁で統一しました。2階は「sweet」。ピンクと白で統一し、お姫様をイメージしています。3階の「exciting」は遊び心溢れるデザインにしました。4階の「relax」は自分の部屋のようにリラックスできる空間に仕上げられています。「gorgeous」をテーマにした5階はゴールドとボルドーを基調にデザイン。ゴージャスな壁紙とシックな照明が特徴です。

プロジェクトは2013年7月にスタート。設計士や企業担当者の方と18回のミーティングを重ね、設計図を見たり、ショールームを見学したりしてプロデュースしたいイメージを膨らませていきました。設計士の方から「空間作りは配置が重要」と教わり、化粧スペース、トイレスペース、洗面コーナーの配置を考えるとどこから始めました。壁、床、天井の色や材質などを選び、洗面台やインテリアも決め、その都度コンセプトにあった空間になっているかを確認しながら、完成させました。学生たちは「壁や床を決めるときは、すごく迷い、難しい作業でしたが、だんだん形になっていくのを見て、愛着が湧いてきました」と振り返ってくれました。

めるときは、すごく迷い、難しい作業でしたが、だんだん形になっていくのを見て、愛着が湧いてきました」と振り返ってくれました。



さわやかなパステルブルー 自分のお部屋をイメージ

遊び心溢れるデザイン

女性らしいパウダールーム

### 学生プロジェクト

## 「絵本フェスタin香芝」を初開催

### 学生プロジェクト

11月15日(土)、「絵本と子育て」をテーマにしたイベント「絵本フェスタin香芝」を香芝市総合福祉センターで開催しました。

これは、「大阪樟蔭女子大学 グリムプロジェクト」の学生たちが、今回、香芝市の新しい魅力となるイベントを考えたいということで、これまでの活動とは異なる全く新しいイベントの企画運営を行いました。

絵本作家のたかいよしかず氏が「僕の夢」と題した講演を行い、作家になったきっかけなどをお話いただきました。その後、たかい氏の作品を使ったワークショップに子どもたちは大はしゃぎ。その他、JPIC読書アドバイザーの松本真裕美氏の「子育て講演会」で、年齢別の絵本の選び方などを保護者にわかりやすくアドバイス。保護者からの質問にも丁寧にお答えいただきました。また香芝市と毎月協働開催しているグリム絵本館も開館し、親子で絵本を楽しんでもらいました。



## 第7回田辺聖子文学館ジュニア文学賞 昨年を上回る応募数!

### ジュニア文学賞

中学生・高校生を対象に表現力豊かな若い世代を育成することを目的としている「第7回田辺聖子文学館ジュニア文学賞」。今年の応募件数は昨年を上回る28,318件となり、回を重ねることにその数を伸ばしています。特に、高校生の参加が増えており、この賞の認知度の高まりが表れています。現在、審査が行われており、2月に受賞者を発表、3月24日に表彰式を開催します。新たな若き才能の登場にご期待ください。



### 第7回田辺聖子文学館ジュニア文学賞 表彰式

日時：3月24日(火) 10:30~12:40(予定)  
内容：第1部 表彰式  
第2部 講演  
講師：朝井まかて氏(小説家)  
【プロフィール】2008年「実さえ花さえ」で小説現代長編新人賞奨励賞を受賞して、作家デビュー。2013年、樋口一葉の歌の師だった明治の歌人・中島歌子を主人公とした歴史小説「恋歌」で本屋が選ぶ時代小説大賞を受賞。2014年には同作で直木賞を受賞。

※参加申し込み方法などは2月ごろに田辺聖子文学館HPでお知らせいたします。  
<http://bungakukan.osaka-shoin.ac.jp/>

## マンション改修プロジェクトを成功させました

### 活動報告

インテリアデザイン学科の3回生が、賃貸不動産会社の正木商事株式会社(本社：奈良市)と奈良市大森町にあるワンルームマンションの改修プロジェクトを成功させました。学生目線で「自分たちが住みたい部屋」を追求し、内装のプランニングから施工の一部まで携わりました。



「北欧カジュアルスタイル」「爽やかさ」をコンセプトに内部空間をデザイン。バルコニーには目隠しの目的と鳩よけのために、デザインを邪魔しない目立ちにくい色のネットを設置しました。広さが限られるワンルームを有効に使うために、ラダーラックの壁面収納をつけたり、照明は方向を変えられるスポットライト付きのものを選ぶなど、「住みたい部屋」を実現させました。学生たちは「低予算でもデザインやアイデア次第で、空間が劇的に変化することを実感しました」と充実感いっぱいでした。



●ライフプランニング学科の学生がCMアワードで最優秀賞

大阪広告協会が主催する「第13回(2014年)MADE IN OSAKA CM AWARDS」学生部門でライフプランニング学科の学生有志チーム「てんてこパズル凸ピース」がラジオCM最優秀賞を受賞しました。このチーム名は、見た目も性格も違う加藤ゼミの3回生8人が、それぞれの個性をいかし、ひとつの形を作り上げようという思いから名付けられました。CMは制作課題の中から三河屋製菓株式会社の「えびみりん焼」を選び、コンセプトを練り、キャッチコピーなどを考えました。途中で意見が衝突したり、思い通りに進まなかったこともありましたが、夜遅くまで学校に残って作業を続けて完成させました。同時に「売れる法則篇」(20秒)も優秀賞を受賞。学生たちは「仲間とサポートして下さった周囲の方々への感謝の気持ちでいっぱいです」と話しています。



●被服学科の●●さんがバトントワーリング世界選手権で銀メダル

被服学科被服学専攻3回生の●●●●さんが8月6日(水)~10日(日)、イングランドの中心部ノッティンガムシャーにあるノッティンガム市で開催された「第32回世界バトントワーリング選手権大会」フリースタイルペアのシニア部門で銀メダルに輝きました。3月に名古屋市で開催された「第39回全日本バトントワーリング選手権大会」で好成績を収め、日本代表選手に選ばれていました。●●さんは「がんばった分が成長につながっていると思います。それが成績にもあらわれてうれしい」と笑顔でした。



●高校生歴史フォーラムで高校2年の●●さんが学長賞

「第8回全国高校生歴史フォーラム」(奈良大学、奈良県主催)で高校2年雲組、●●●●さんの研究「田原氏と田原のキリシタン—田原レイマンを中心に」が学長賞を受賞しました。

### 報告

## 「くすのき地域協創センター」が設立されました

地域との連携を一層強めていくことを目的とした「くすのき地域協創センター」を2014年6月に設立しました。学生を中心によりアクティブに地域と関わり、提案型の「地域協創」を実現し、新たな地域価値の創造に取り組んでいきます。また、10月には文部科学省「私立大学等改革総合支援事業」の地域発展分野に採択され、くすのき地域協創センターでは主に以下の3つの事業を実施します。

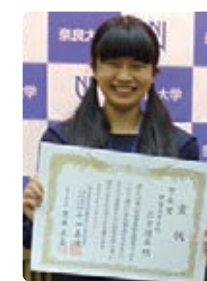
- ①教育事業：地域志向を踏まえた学生の教育プログラム
- ②研究支援事業：地域との協働による研究
- ③地域連携事業：地域や産官学連携を通じた様々な学生主体プロジェクト等

センター開設により全学的に地域連携に取り組む体制整備を行ない、学生による女性「知」を活かした地域課題解決を図る拠点として、積極的に地域への貢献を果たしていきたいと考えています。

### 受賞

今回は52校からグループ、個人の研究レポート269件の応募があり、優秀賞5件と佳作7件を選出。11月22日(土)に優秀賞の5校を奈良に招待して発表会を開き、学長賞と知事賞を決定しました。

●●さんは自宅近くの田原城跡の最後の城主だったキリシタン、田原レイマンを研究。今までになかった自説を発表しました。審査員からは「従来とは違う新しい考えを導き出し、また文字資料と物質資料の両方を総合的に分析した点が素晴らしい」と講評を受けました。



●大学・被服学科 武藤祐子講師が日本へア・メイクデザイン画展で銅賞

12月14日(日)~16日(火)に東京芸術劇場で開催された「第40回日本へア・メイクデザイン画展」(日本へアスタイル画協会主催)、被服学科の武藤祐子講師が「B3・B4イラストメイクデザイン画部門」銅賞を受賞しました。



同展は理・美容業界で唯一の全国公募による画展。へアモード画部門、イラストメイク部門、へア・メイクデザイン画部門、B3・B4画部門の4部門に分かれており、各部門とも素晴らしい作品ばかりでした。